

WHAT

# DNA

高橋龍太郎コレクション

# DNA



山口昇「何かを造る」(部分) 2001  
 © YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery  
 Photo by Keizo KIKUKU



## 日本現代アートのDNAを探る

主催・企画：WHAT MUSEUM 企画協力：高橋龍太郎コレクション

会場：WHAT MUSEUM 東京都品川区東品川2-6-10寺田倉庫G号

開館時間：火曜-日曜 11時-18時(最終入場17時) 休館日：月曜(祝日の場合、翌火曜休館)

# 2023.4.28[FRI]-8.27[SUN]

# ART de チャチャチャ 日本現代アートのDNAを探る

本展では、日本の伝統文化・芸術を独自の視点で再解釈し、新たな形や方法で表現している約30作家による約40点の作品を高橋龍太郎コレクションよりセレクトし、日本の現代アートのDNAを探りその魅力に迫ります。

日本の現代アートの作家が時代の変遷とともにさまざまな表現を受け入れながら発展した日本の文化・芸術と向き合い、継承しつつ獲得したオリジナリティには世界にも類を見ない強度があります。本展では、日本の現代アートの多様性を包括的に見ることができる高橋龍太郎コレクションの作品展示を通して、日本で築き上げられてきた多様な伝統文化・芸術の中に、現代の作家たちが何を見出し、どのように自らの表現へと昇華させたのかを探ります。皆さまが、日本の現代アートのDNAを探求しながら日本の魅力を新たに発見し、これからの現代ニッポンのARTを応援するきっかけになることを願います。

## Highlights

- 岡村桂三郎、杉本博司、井上有一らの作品が共鳴し、光と陰の中に浮かび上がる展示空間。
- 小沢剛、鴻池朋子、天明屋尚、山口晃、横尾忠則らによる日本独自の伝統的な技法や素材、モチーフを用いた多様な作品。
- 見附正康、山口英紀、橋本雅也らによる圧倒的な超絶技巧の作品。
- もの派の代表的な作家である榎倉康二、菅木志雄、関根伸夫、李禹煥らの作品。



関根伸夫「神話素」1989  
© Nobuo Sekine Estate Photo by Keizo KIOKU



岡村桂三郎「獅子08-1」2008  
Courtesy of コバヤシ画廊 Photo by Mareo Suemasa



鴻池朋子「無題」2010  
© Tomoko Konoike



天明屋尚「机器人明王図」2015  
© Tenmyouya hibashi

## Information

高橋龍太郎コレクション  
 「ART de チャチャチャ —日本現代アートのDNAを探る—」展  
 [会期] 2023年4月28日[金]—2023年8月27日[日]  
 [会場] WHAT MUSEUM 1階SPACE1及び2階  
 [開館時間] 11:00~18:00(最終入場 17:00)  
 [休館日] 月曜日(祝日の場合、翌火曜日休館)  
 [入館料] 一般 1500円、大学生/専門学校生 800円、高校生以下 無料  
 ※模型保管庫をご観覧希望の方は単体700円、  
 本展とセットになった2000円のお得なチケットもご用意しております  
 ※オンラインチケット制  
 [展覧会パスポートのご案内]  
 本展会期中何度でもご来館いただけるお得なパスポートを発売  
**WHAT MUSEUM PASSPORT 2000円**  
 ※会期中に一部展示替えがあります  
 ※最新の情報は公式サイトをご確認ください  
 主催・企画: WHAT MUSEUM  
 企画協力: 高橋龍太郎コレクション グラフィック: 氏デザイン

## Artists

※敬称略・姓の五十音順

青山悟、井上有一、岩崎貴宏、榎倉康二、岡村桂三郎、小沢剛、小谷元彦、華雪、金子富之、熊澤未来子、操上和美、桑田卓郎、鴻池朋子、指田菜穂子、菅木志雄、杉本博司、須田悦弘、関根伸夫、田代裕基、東芋、天明屋尚、橋本雅也、畠山耕治、町田久美、松井えり菜、見附正康、村山悟郎、森村泰昌、山口藍、山口晃、山口英紀、横尾忠則、李禹煥(予定)

見附正康「無題」2022  
© Masayasu Mitsuke,  
Courtesy of Ota Fine Arts



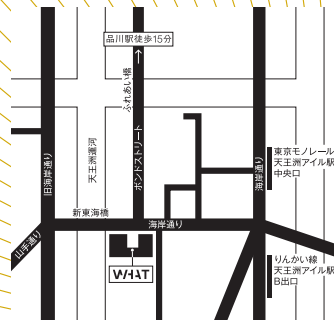
桑田卓郎「茶壺」2010  
© Takuro Kuwata,  
Courtesy of KOSAKU KANECHIKA  
Photo by Keizo KIOKU



音声ガイド 本展の日本語ナレーションを俳優・柴咲コウ氏が務めます。  
**柴咲コウ** WHAT MUSEUM公式アプリをお手持ちのモバイル端末からダウンロードすると、音声ガイド(無料)を館内で視聴ができます。

## Access

**WHAT MUSEUM**  
 〒140-0002  
 東京都品川区東品川 2-6-10 寺田倉庫G号  
 東京モノレール  
 天王洲アイル駅より徒歩5分  
 東京臨海高速鉄道りんかい線  
 天王洲アイル駅より徒歩4分



## 同時開催

**公開制作: 能條雅由**  
 「うつろいに身をゆだねて」  
 [会場] WHAT MUSEUM 1階SPACE2  
 当館では初めての試みとなる公開制作を行います。作家と来館者の皆様との直接的な接点が生まれるライブ空間を提供することで、普段目にするこのない作品が生まれるプロセスに立ち会う機会を創出します。  
 主催・企画: WHAT MUSEUM  
 企画運営協力: アートマネジメントオフィス アノイ!  
 協力: 丸尾隆一  
 ※作家の滞在・関連イベントの日程については公式SNSをご確認ください。



Photo by Ruyichi Maruo